

学校施設個別施設計画

【令和7年度修正概要】

西東京市教育委員会

教育部教育企画課

令和8年3月

見直しの背景

令和5年度に策定した学校施設個別施設計画は、将来的に厳しい財政状況が想定される中で、安全性を確保しつつ、計画的に施設整備を進めるだけでなく、中長期的なトータルコストの縮減・平準化と教育環境の向上を同時に図るため作成しました。

一方で、建設業界における人材不足や働き方改革、資材・設備の調達期間の長期化といった社会経済情勢の変化や、令和5年度の計画策定後に生じた高架水槽の破損や給食における異物混入事案等の課題に早急に対応していく必要があります。

このことから、これまで検討を進めてきた学校施設の建替事業や今後計画的に進める設備等の老朽化対策などを計画的に進めていくため、学校施設個別施設計画の一部見直しを行いました。

建替時の仮設施設の考え方

これまでの個別施設計画では、「児童・生徒の負担等を考慮し、建替時の仮設施設については整備しないことが望ましい」としていました。

一方で、現在検討している田無第三中学校の建替えにおいて、学校教育の視点に加え、安全面や災害時の機能、複合する施設などの地域特性といった様々な視点から検討が必要となり、建替協議会からも意見を伺っています。

このため、地域の核となる施設として学校施設の長期的な利用を考えると、現在の仮設施設整備の考え方を一律に適用するのではなく、地域の実情を十分に踏まえた柔軟な対応を行う必要があります。

以上のことから、建替時の仮設施設については、児童・生徒の負担等を考慮し整備しないことが望ましいですが、敷地の形状や規模、周辺環境といった特性や状況などを踏まえ、検討していきます。

建替スケジュール

建設業界での人材不足や働き方改革、資材・設備の調達期間の長期化といった社会経済情勢の変化を踏まえ、今後の学校施設の建替事業については、標準的なスケジュールを見直し、事業期間や必要経費の精査を行いながら進めていきます。

標準スケジュール (見直し後)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目	11年目
取組内容	基本構想	基本計画	基本設計	実施設計		建設工事			解体工事		外構工事

《変更点》

基本構想・基本計画
1年→1.5年

基本・実施設計
2年→2.5年

建設工事
2年→3年

解体工事
1年→1.5年

建替スケジュール (今後10年間ににおける平準化*等を考慮した場合)

学校名	経過年数 (校舎/体育館)	健全度 (校舎)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	2031 (R13)	2032 (R14)	2033 (R15)
田無第三 中学校	65年/58年	49点				基本設計 仮設設計	実施設計 仮設整備	実施設計 仮設整備	解体工事	建設工事 解体工事	建設工事	建設工事
保谷第一 小学校	59年/60年	36点				基本設計	実施設計	実施設計	建設工事	建設工事	建設工事	解体工事
保谷 小学校	59年/54年	49点						基本設計	実施設計	実施設計	建設工事	建設工事
芝久保 小学校	58年/54年	46点							基本設計	実施設計	実施設計	建設工事

※平準化：建設工事の2年目以降が単年度に2校まで